

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月30日	記入者		連絡先	2792
平成18年度部名	経済部	課名	農林課	課長名	宮崎孝司
平成19年度部名	経済部	課名	農林課	課長名	小峰幸夫
事務事業名	(社)相模原市畜産振興協会補助金				
予算上の事務事業名	(社)相模原市畜産振興協会補助金				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	31510	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第5節 都市農業の振興				
施策名	第1施策 安定した農業経営の確立				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	(社)相模原市畜産振興協会運営管理費補助金交付要綱 (社)相模原市畜産振興協会事業費補助金交付要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)		▼	5 事業開始年度	平成6年度 ▼
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何) 相模原市内における畜産振興及び畜産物生産者の経営安定に資するため、相模原市と相模原市農業協同組合の出資により設立した社団法人相模原市畜産振興協会の運営及び事業に対し助成するもの。 ・協会の運営管理 ・協会の事業 (3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。 運営管理費補助金 35,834円 協会の運営費(人件費等)及び施設維持管理費に対して助成を行った。 事業費補助金 26,679円 協会が実施する事業に対して助成を行った。 ・家畜防疫対策事業、近代化設備推進事業、畜産環境衛生事業、酪農・養豚・養鶏振興対策事業 など				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	神奈川県内においては、19市町で「畜産会」が設置され、家畜防疫対策、畜産環境衛生事業等を実施しており、その運営や事業に対して各市町から助成を行っている。公益法人は本市のみであり、他は任意団体で、市町または農協が事務局機能を行っている。				
8 事業費の推移	[単位:千円]				
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	64,678	61,149	62,513	71,376	71,376
一般財源	64,678	61,149	62,513	71,376	71,376
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	330	328	328	328	328
事業コスト合計	65,008	61,477	62,841	71,704	71,704
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	家畜防疫対策事業・畜産環境衛生事業補助金			対象名称 と単位	賛助会員数(人)
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	17,706	16,938	13,447	17,431	17,431
対 象 数	58	56	56	73	73
単位あたり経費(円)	305,276	302,464	240,125	238,781	238,781
前 年 度 比		0.99	0.79	0.99	1.00
10 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの					

指標名と単位	環境衛生巡回指導（戸）	指標式と指標の説明	県家畜保健衛生所等と連携し全戸を対象に巡回指導による環境衛生の向上と衛生思想の普及を図る		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	58.0	54.0	49.0		
目標	58.0	54.0	49.0	72.0	72.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	家畜伝染性疾患の発生件数（件）	指標式と指標の説明	予防接種・ワクチン購入補助や巡回指導による衛生環境の向上を図り、家畜伝染性疾患の発生を予防する		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	1.0	0.0		
目標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を受けている。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]	：良好な状態を維持する事業			
	[]	：概ね良好な状況である事業			
	[]	：見直しを行う必要がある事業			
	[]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			畜産振興に係る事業への助成は必要性、効果等認められるが、公益法人として今後も事業を実施することについては見直しが必要がある。
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
畜産分野を含む都市農業を推進する新たな事業主体の設立について、市農協と共に検討を進める。この中で、新たな事業主体が継承・充実する事業、市が直接補助する事業、縮小・廃止する事業について整理する。			新たな法人の採算性の確保		
1.6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			